



実証実験概要書

連続性(生まれる前から亡くなるまで) の口腔の健康増進の実証実験

歯っぴー株式会社



提案に至る背景

令和3年度つくばSociety5.0社会実装トライアル支援事業で、「染め出しライト」を用いた「母子健康増進のための口腔ケア啓発に関する実証実験」を行い、口腔の健康増進に関する保護者へ正しい知識と技術の普及・啓発に寄与できる可能性を検証することができた。本実証実験では、対象を全世代に拡充することで生涯を通じた切れ目のない口腔の健康増進を進める。

実証実験の目的

従来のお口の中の状態を視覚的に確認するために用いる歯垢着色液よりも、簡便に歯垢を確認できる「染め出しライト」を用いた機会提供で、生まれる前から亡くなるまで連続的な気づきを提供による口腔の健康増進と効果を検証し、市民サービスの質の向上、及び口腔の健康増進からの社会保障(医療費)の削減を目指す。

実証実験の概要



- 【実証実験内容】
- ①法的根拠に基づく歯科健診制度の向上
従来の歯科健診を「検査から保健指導へ」重点を置き、むし歯の早期受診効果を高める。
 - ②2030年の国民皆歯科健診の未来像の創造
努力義務期間の歯科健診をつくば市が提供する実証フィールドで行うことで、80歳で28本残す国民皆歯科健診の未来を創りあげる。
- 【実施期間】
2022年6月～2023年3月
- 【実施体制】
つくば市科学技術振興課：実証フィールド提供
歯っぴー：機器準備、サービス提供

検証したい内容

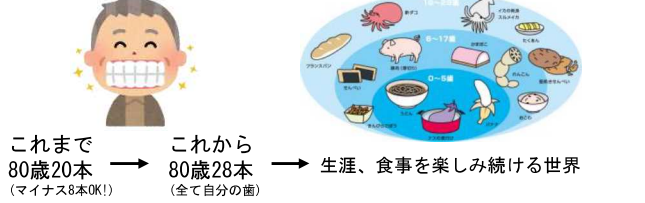
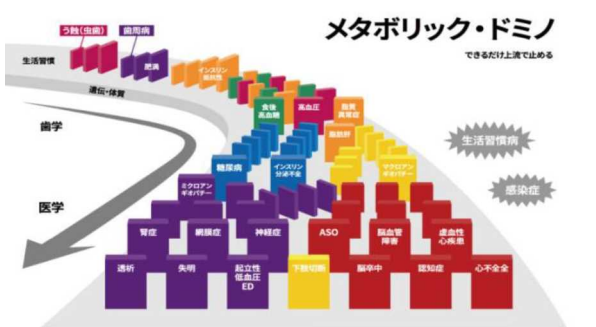
- ①法的根拠に基づく歯科健診制度の向上
 - ・従来の歯科検査の効率化の検証
 - ・効率化時間を保健指導への重点を置く検証
 - ・保健指導に対する健診要受診判定者への効果検証
- ②2030年の国民皆歯科健診の未来像の創造
 - ・マタニティサロン、マタニティ講演会での効果検証
 - ・乳幼児向け家庭教育学級での効果検証
 - ・ご高齢者向け認知症予防教室での効果検証

市が行う支援内容

- ・実証実験場所の選定・調整・提供
 - ・実証実験協力者の紹介・調整
 - ・市のイベント等におけるPRの場の提供
 - ・その他市が必要と認めるもの
-

期待される効果・実現を目指す未来社会

- ①法的根拠に基づく歯科健診制度の向上
「検査から保健指導へ」重点を置くことで、乳幼児児童生徒等、及び保護者へ口腔ケアに関する知識の普及啓発の推進する社会実装を目指す。
- ②2030年の国民皆歯科健診の未来像の創造
国民皆歯科健診の選択肢の1つとして、口腔の健康と全身の健康の関係に係る信頼性の向上による国民皆歯科健診サービスの社会実装を目指す。
- ③歯が大事 食べるたのしみ いつまでも を実現



慶応義塾大学医学部内科教授・伊藤裕氏が提唱
このドミノの最上流、予防医療に歯科医療が直接関与できる

- ① 歯科による食育は肥満の予防となる。
- ② むし歯・歯周病は食生活や衛生習慣など生活習慣乱れが始まり。
- ③ 口腔内細菌は、さまざまな感染症や生活習慣病に関わっている。呼吸器疾患や心臓病、糖尿病、早産など全身の健康と深いつながりがあることが、研究機関で明らかにされている。